

栃木市立静和小学校 学校関係者評価委員会 (文書会議)



1 学校経営について

- どの評価項目も素晴らしい結果と感じた。先生方への信頼、学校への安心感の表れだと思う。
- 一人一人の子どもたちに寄り添って、真摯に向き合っている姿に感動している。先生方には、心身ともに余裕が必要。働き方改革の必要性を痛感している。
- 学習内容を理解させようと、工夫しながら授業を行っていてよかった。
- コロナ禍で、様々な制限のある中、子どもたちのために、常にできることを考えて、活動されていたと思う。
- コロナ禍で大変な中、子どもたちの安全や安心に最大限配慮していることが、学校からのお便り等で感じられる。また、先生方が、PTA本部役員はじめ保護者と情報の共有や連携を図りながら、子どもたちが楽しく通える学校になるよう努力されていることに感謝している。
- 今年度は子どもの安心・安全を守るために、とても苦勞されていたと思う。常に子どもに寄り添った教育が行われている学校であることがうれしい。
- 学校が楽しいと思う子どもがほとんどだということが何より。
- 今年度は、学校を訪問する機会が少なかったため、様子がわかりにくかった。

2 学習指導について

- 「しんの強い子ども」を作るために、先生方・児童・保護者がともに努力した結果がアンケート結果の随所に見られた。何より素晴らしいことは、児童自身が学校に行くことが楽しく、仲間ができ、楽しく勉強しているということ。
- 「自主学習」への取り組みが、子どものやる気を引き出してくれていて素晴らしい。自分なりの学習習慣を身につけることの土台作りに役立っており、中学校へも繋がると思う。
- 今年度の共通テストでは、読解力の重要性が増したと聞いている。親子での読書習慣にも力を入れていて素晴らしいと思う。
- 一人一人にとってもきめ細かく対応していただいていると思う。
- 臨時休業による影響を心配したが、授業参観したことで、先生方が工夫して授業を行っている様子がよく分かった。
- 放課後教室で学習する時間があることは、とてもありがたいことだと思う。
- 以前より、自由に行動・発言する子どもが増えているように感じる。(良い面・悪い面共に)
- 授業を参観した際、私語の多いクラスが見られた。担任は、もっと威厳を持って授業をしたらよいと感じた。
- 児童評価が「1」や「2」の児童に対してのフォローを大切にしてほしい。
- コロナの影響で、保護者が授業の様子や内容を見ることができないので、状況を考慮しながら機会や方法が持てることを希望する。
- 苦手科目ができはじめる3・4年生の時に、家庭との連携がとれると、安心して

高学年に進めるのではないかと思う。

3 温かな人間関係づくりについて

- 学校を楽しんでいると感じて登校している児童が大半という結果からも、先生方大人と児童、そして友達同士のコミュニケーションがとれている証と思う。
- 先生方が子どもたちの顔と名前を覚えてくれていることに感動したという保護者の声を耳にした。「全教職員が全児童の担任」の合言葉が実践されていて、たいへん素晴らしい。
- 上級生が下級生のお手本になり活動していると思う。
- 他人を思いやる気持ちを育てる言葉かけが常に先生方から聞かれ、とても素晴らしいと思う。
- 「学校が楽しい」と答えた児童が多く、子ども同士、先生と子どもの関係が良いと思う。あいさつもよくできて、とてもよい子どもたちだと思う。
- 手洗いの励行、いじめ対策、事故防止における教職員評価結果の高さから、教職員の危機意識の高さが伺える。
- 密を避け、マスク生活の子どもたちが、学校でどのようにコミュニケーションをとっているのかを知る機会があると良いと思う。
- 道徳の授業風景や発言内容を知ることができると、家庭でも人間関係についての話題が膨らむと思う。
- いじめ対策、健康作りにおける児童評価の「2」「1」評価の児童は、要観察と思われる。

4 家庭や地域との連携について

- 「消毒ボランティア」には、毎回たくさんの保護者、地域コーディネーターが参加したと聞いた。日頃から、たくさんの方々に見守られているという恵まれた環境にいる子どもたちは幸せだと感じている。
- コロナで学校を訪れる機会が少ない分、ホームページが頻繁に更新されていて、普段の学校生活の様子がよく分かり、親子の会話が増えたと聞いた。
- 保健日より、内容が具体的で感染予防など、とても参考になっていると保護者が感謝していた。
- 先生方、地域コーディネーター、PTA役員のみなさんへの感謝の言葉を多くの方から耳にしている。
- 元気な高齢者が集まる場所で接点が持てたらよいと思う。
- 今年度は限られた活動しかできなかったが、PTAと地域の繋がりが今後もさらに大切と思うので、微力ながら手伝いたいと思う。
- 今年度は、地域との連携があまりとれず残念だったが、次年度は、コロナ対策をした上での連携がとれると良いと思う。
- アンケート結果から、教職員が、「地域と共にある学校作り」に保護者や地域の人たちと協力、努力していることがわかる。
- 静和小は、家庭・学校・地域の繋がり、連携がとてもよく図られていると思う。今は、なかなか三者が一体となった活動はできないが、この状況が落ち着いたなら、以前のような開かれた学校として、子どもたちを皆で育てる静和小であってほしいと願っている。